

ごあいさつ

皆さまにおかれましては日頃から、リサイクル事業に対しまして、ご支援ご協力を賜りましてありがとうございます。

私ども、東京都リサイクル事業協会（東リ協会）は、都内で再生資源を取り扱う団体＜旧：R団連（東京都リサイクル事業団体連合会）連絡協（東京二十三区再生資源業者連絡協議会）多摩R団連（多摩地域リサイクル事業団体連合会）＞3団体が統合し、本年7月に法人化を目指して発足した業界団体です。

ご案内のとおり、深刻化する環境問題解決のためにリサイクルの促進は必要不可欠な社会的使命となっております。当団体は、リサイクルの中でもとりわけ大量に流通する古紙・古繊維・びん・金属スクラップ・廃プラスチックなどを扱い、都内のごみ減量を支えてまいりました。

近年相次いでリサイクルを促進するための諸法令が施行されて参りました。しかし、容R法（容器包装リサイクル法）施行から10年を過ぎようとしています、この間リユースの代名詞的存在のリターナブルびんが減少するなど、多くの課題を改めて露呈する結果となって参っております。

一方、鉄スクラップや古紙などにおいては、経済のグローバル化とともに海外の需要家への輸出も活発となり、これからのリサイクルはもはや国内だけでなく国際的視野でデザインする必要に迫られて参ります。

再生資源の一大発生地である東京のリサイクルは、他地域への影響力も大きく、私どもリサイクル実務業界としては、今以上に社会に役立つリサイクルシステムの構築を、都民や事業者の



会長 畑 俊一

皆さん、行政等の関係機関と社会的協力体制を築く必要があると認識しているところであります。

当団体は、より効率的なりサイクルをめざした情報発信に心がけるとともに、皆さまから頼れる相談窓口になることを願って活動いたします。今後ともより一層のご教示を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

リサイクルフォーラム「再生資源リレートーク」開催予告

「グローバル化が進む古紙の今後はいかに?」「回収事業者認定制度とは・・・」「魚のリサイクルって何?」・・・「古紙」「古繊維」などの再生にまつわるホットな話題を提供します。参加者の皆さんと意見交換を交えながら、再生資源流通の今を知り、今後のリサイクルのあり方をごいっしょに考えませんか。

日時：2006年1月29日（日）13:00～16:00

会場：府中グリーンプラザ

（東京都府中市府中町1-1-1、京王線「府中」駅下車徒歩1分）

参加費：1,000円 定員：60名（先着）

参加方法：下記事項をご記入のうえ FAX にてお送りください。

FAX 確認後、受付票を送付します。2006年1月20日（金）必着。

申込記入内容：氏名 住所 電話・FAX 所属（学校・勤務先等）

申込先：FAX:03-5833-1040

お問合せ：TEL:03-5833-1030 東リ協会 事務局担当後藤まで

TAMA とことん討論会「循環型社会をつくる多摩パワー」も同時開催しています。詳細は <http://www.renpou.org/tokoton13.html> まで

特集

業界からのメッセージ

びん商
(東京壺容器協同組合)

～リユース社会実現への試金石～

びん回収の「東京システム 21」とリユースの取り組み

1 はじまりは樽から・・・
びん商のルーツ

びん回収業のルーツを辿ると、酒や醤油の空樽を商う業界がそのままガラスびんに移行したケースや、横浜などの外国人居留地で発生したガラスびんを買ったりもらったりして江戸へ運び、商いを始めたケースがあったとの事です。以後、容器の主流であった大量の

リターナブルびんの回収販売業務を全国規模で担いながら、永年にわたり成熟した市場を形成してきました。しかし経済の高度成長化と共に、ガラスびんのワンウェイ化や他素材容器の増加が進み昭和 50 年代～ 60 年代にかけてさらに拍車がかかりました。

2 「生きびんの危機」は
環境問題そのもの！

ところで、環境問題は現代人の生き方の問題でもあるのではないかと？

私たちは現在を「生きびんの危機」と位置づけ、様々な対策を講じてきました。業界では子々孫々までの「持続可能な社会」の創造を最終目標に設定。安い資源が無尽蔵に存在することを前提とし、形あるものを壊して作り変えるような社会経済体制が問題の根本にある

はずです。一方で生きびんは、僅かな湯水と洗剤で再商品化できる。こんなに環境負荷の低いしかも経済合理性に符合したやり方はないはずで、ですから初めて「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」という言葉と出会ってその説明を聞いたとき我が意を得たりと思ったものでした。

現在もガラスびんの退潮傾向は続き、しかもリユース



スびんの占める割合も減少していますが、平成 12 年の「循環型社会形成推進基本法」では 3R が高らかに謳われており、また現在主務省により鋭意検討が進められている「容器包装リサイクル法」の施行後 10 年目の見直し作業の中でも、容器包装ごみの有効な減量方法は 3R、とりわけリユースが大切であるとの結論に近づいてきたと聞いております。

3 リユース成立の鍵は
集め方にあり

東京大学生産技術研究所(現国連大学副学長)の安井至教授による「容器間比較研究」でも、ガラスびんのリユースが環境に与える負荷が最も低いと指摘されており、今後のびんリユースに対する期待が高まっております。

現在食品・飲料類の流通販売形態が激変し、容器包装類をはじめとする資源のリサイクルに行政回収の占める割合が大になってきました。私達も各ボトラーさんに良いリユースびんを供給する、その為には良い状態で回収することを前提に、

行政回収の委託を受けながら、コンテナによる完全分別回収方式にこだわってきました。このやり方を「東京システム 21」と称し、今後更なるシステムアップを考えて参ります。

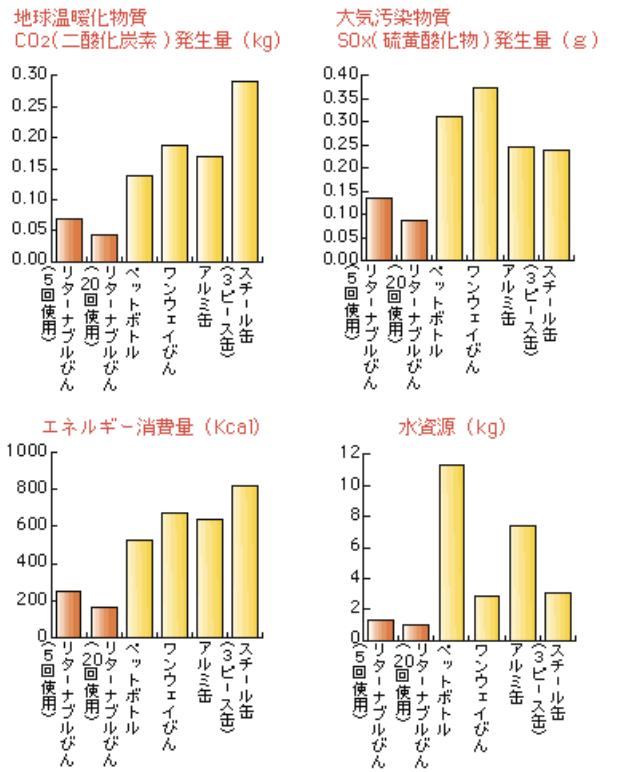
4 買い取り方式で好転 -南九州のリユースびん

更に新しい取り組みとして、平成 15 年びん業界はリターナブルびんの促進にむけ、環境省循環型社会形成実証事業において「南九州で 900ml 茶びんの統一リユースシステム事業」を提案し採択されました。

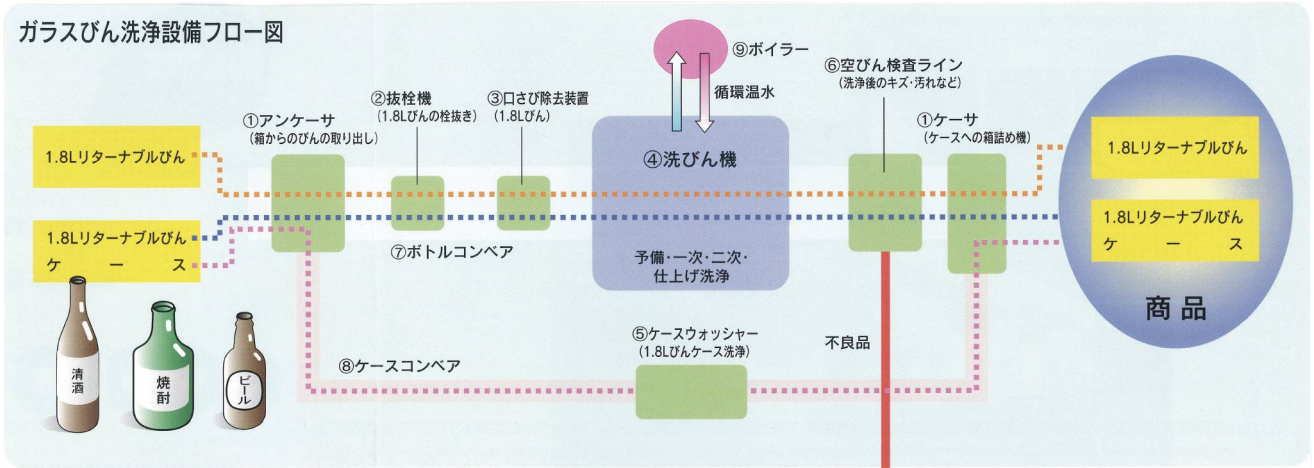
現在、南九州地区に年間 100 万本流通しているワンウェイ 900ml 茶びんを規格統一したリユースびんに切り替える試みで進めています。その結果リユースびんの投入量は 140 万本に達し、市民が酒販店に 900ml 茶びんを持込むと、1 本 5 円の買い上げが行われています。このモデルを全国的に発展させるための取り組みを行っています。

今回、東京都リサイクル事業協会の機関紙創刊に当り、私共は今後とも関係の皆様と手を携えて、真の循環型社会構築に向け努力していく所存です。

共通容量 (500ml) の各種容器における 環境負荷発生量比較



出典：2001.8「LCA手法による容器間比較報告書<改訂版>」
容器間比較研究会



< > 内は当協会役職

< 財務委員会副委員長 >
三弘紙業株式会社
 代表取締役会長 上田雄健
 代表取締役社長 上田晴健
 [古紙問屋]
 〒 112-0002 文京区小石川 3-39-6
 : 03-3816-1171 Fax : 03-3811-1575

< 広報委員会副委員長 >
 合資会社**戸部商事**
 代表社員 戸部 昇
 [空壇問屋]
 〒 121-0836 足立区入谷 8-10-29
 : 03-3897-1156 Fax : 03-3853-1619

< 会長 >

株式会社 **山室**

取締役社長 畑 俊一

[古紙問屋]

〒 111-0041 台東区元浅草 2-2-15
: 03-3844-8191 Fax : 03-5806-0181

< 調査研究委員会委員長 >

株式会社 **栗原紙材**

代表取締役社長 栗原正雄

[古紙問屋]

〒 116-0014 荒川区東日暮里 1-27-9
: 03-3806-1751 Fax : 03-3806-7490

< 副会長 >

株式会社 **六甲**

代表取締役社長 今井一夫

[空堀問屋]

〒 104-0033 中央区新川 1-3-7 六甲第 2ビル
: 03-3552-6551 Fax : 03-3552-6556

< 広報委員会委員長 >

株式会社 **日本協力**

代表取締役社長 渡邊省吾

[廃棄物処理業]

〒 135-0052 江東区潮見 1-6-2
: 03-3640-4777 Fax : 03-3640-4430

< 副会長 >

株式会社 **信太商店**

代表取締役社長 信太政光

[再生資源回収業]

〒 151-0063 渋谷区富ヶ谷 2-5-6
: 03-3467-7006 Fax : 03-3467-7080

< 事業対策委員会委員長 >

株式会社 **皆川商事**

代表取締役社長 皆川 昇

[古紙問屋]

〒 174-0041 板橋区舟渡 1-9-11
: 03-3968-2427 Fax : 03-3960-7603

< 副会長 >

株式会社 **三栄サービス**

代表取締役 紺野武郎

[古紙問屋]

〒 189-0003 東村山市久米川町 1-16-18
: 042-391-5498 Fax : 042-391-5416

< 財務委員会委員長 >

株式会社 **富澤**

代表取締役社長 瀧本義継

[古紙問屋]

〒 332-0011 埼玉県川口市元郷 3-21-31
: 048-225-4301 Fax : 048-226-2044

< 理事 >

株式会社 **デルエフ**

代表取締役社長 新井英一

[再生資源回収業]

〒 116-0003 荒川区南千住 6-9-8
: 03-3891-2285 Fax : 03-3891-4377

< 監事 >

有限会社 **鰐淵商事**

取締役 鰐淵順一郎

[再生資源回収業]

〒 114-0016 北区上中里 1-41-10
: 03-3910-1262 Fax : 03-3910-1263

< 理事 >

株式会社 **ネクスト**

代表取締役 佐々木義春

[再生資源回収業]

〒 206-0011 多摩市関戸 3-10-6
: 042-337-7777 Fax : 042-337-7770

< 監事 >

株式会社 **豊島硝子**

代表取締役社長 菅澤英隆

専務取締役 菅澤和志

[硝子原料問屋]

〒 170-0012 豊島区上池袋 1-39-15
: 03-3918-0248 Fax : 047-383-2060